

ライブリバント+カルボプラチン+ペメトレキセド療法の治療をお受けになる方へ

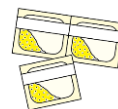
★治療スケジュール 症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

お薬の名前	1日目	2～21日目
吐き気止め	 15分	お休み
ペメトレキセド (ペメトレキセド)	 10分	
カルボプラチン (カルボプラチン)	 1時間	
ポララミン	 15分	
発熱予防 アセリオ	 15分	
ライブリバント (アミバンタマブ)	 2時間	

【副作用軽減のために使用するお薬】

ビタミンB₁₂（フレスミンS注）：初回投与7日前に投与をします。

葉酸（パンビタン）：初回投与7日以上前より服用を開始します。



★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10～14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！ 白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

赤血球減少(貧血)

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

腎機能障害

抗がん剤の影響で腎臓がうまく働かなくなることがあります。腎臓の働きが悪くなると、お薬が体内から抜けにくくなり、副作用が強くなる場合があります。

⇒500mLのペットボトル、2本ぐらいを目安に水分をとりましょう。



〈ご自身でわかる副作用〉

悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

便秘・下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを服用して下さい。下痢止めを2回服用しても、よくならない場合は、病院への連絡が必要です。

過敏症

点滴中にアレルギー症状がおこることがあります。『息苦しい』『胸が苦しい』『心臓がドキドキする』『発疹がでる』『顔がほてる』『汗がでる』『顔や体がかゆい』などの症状がおこった時は、すぐにスタッフを呼んで下さい。

⇒アレルギー症状は、多くの場合、点滴を始めてから数分でおこります。

〈ライブリバントによる副作用〉

間質性肺疾患

空気を取り込む肺胞という器官が炎症を起こす病気です。初期症状は、息切れ、発熱、痰のない乾いた咳（空咳）、疲労などがあげられます。これらの症状に気付いたら自分で対処せず、すぐに医師、看護師、薬剤師に連絡して下さい。また、60歳以上の方や肺の病気や手術をしたことがある方、呼吸機能が低下していたり酸素を投与している方、肺に放射線を照射したことがある方、腎障害のある方は間質性肺疾患が起こりやすい可能性があるため特に気を付けましょう。

発疹、ざ瘡様皮疹

皮膚が赤くなったり、かゆみをともなうことがあります。症状が強く出た場合は、ぬり薬や飲み薬を使うことがあります。

インフュージョンリアクション

投与中から投与後、アレルギーに似た症状が出る場合があります。『寒気』『気分が悪い』『顔や体がかゆい』『息苦しい』『頭痛』などの症状がおこった時は、すぐにスタッフを呼んで下さい。

静脈血栓症

血管の中に血の固まり（血栓）が出来てしまうことがあります。息苦しさ、足の腫れなどの症状を感じるがあれば直ぐに報告してください。

爪囲炎

治療開始4～8週間後に手足の爪の周りの皮膚に炎症がおこります。ひどくなると、爪の周りの肉が盛り上がり、強い痛みをともないます。

⇒症状の軽いうちから早めにケアしていきましょう。保湿もあわせておこなうことが重要です。

体液貯留、低アルブミン血症

身体の中の水分バランスが崩れて、手や足にむくみを生じることがあります。また、原因の一つとして血液中のアルブミンが低くなることが挙げられています。

⇒アルブミンに関しては血液検査で定期的に確認を行います。

★すぐに連絡をいただきたい副作用

- ★「ふるえ」、「悪寒」、「38℃以上の発熱」、「肌のほてり」、「紅潮」（敗血症）
- ★「皮膚のかゆみ」、「じんま疹」、「息苦しさ」、「心臓がドキドキする」、「意識がもうろうとする」、「熱っぽい」、「急に寒気がする」、「ふらつく」（過敏症）
- ★「胸の痛み」、「足の腫れ」、「足の痛み」（血栓症）

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。